

2016年10月20日(木)

13:00- 14:45

スポーツセッション

ラグビーの魅力・ラグビーワールドカップの力

- ・ラグビーの魅力のアジア等の国々への伝承
- ・ラグビーワールドカップ開催がもたらす国内外の社会的・経済的な発展の可能性

15:00- 17:00

東京プレナリー

- ・基調講演
- ・官民パネル

2016年10月21日(金)

10:00 – 12:00

スポーツセッション

オリンピック・パラリンピックがもたらすレガシー

- ・東京大会において、残すべきレガシー

13:00 - 17:00

スポーツ大臣会合

Sport for Tomorrow

- ・開発と平和のためのスポーツ
- ・万人のスポーツへのアクセス
- ・スポーツ・インテグリティの保護

09:00- 17:00

官民ワークショップ

- ・世界経済フォーラムと連携し、世界の未来を議論

10:00- 22:00

文化会議 分科会

ここから – 障害・アート・からだを考える三日間（仮称）（展示） ※23日（日）まで

- ・障害のある方による優れた芸術作品や、障害のある方のための優れた取組等を紹介

13:00- 16:00

文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて（仮称）

- ・障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に関わる活動をテーマとしたシンポジウム

2016年10月22日(土)

10:00-13:00

文化会議 分科会

バリアフリー映画上映会（仮称）

- ・障害の有無にかかわらずあらゆる人々が共に楽しむことができる映画上映会

現在調整中の他のプログラムについては追って、お知らせいたします。

スポーツセッション

ラグビーの魅力・ラグビーワールドカップの力

アジア初のラグビーワールドカップの開催国として、ラグビーの魅力のアジア等の国々へ伝承し、ラグビーの普及促進及びラグビーワールドカップの開催がもたらす国内外の社会的・経済的な発展の可能性等について議論を行います。

日時 10月20日(木)13:00~14:45

会場 グランドハイアット東京 コリアンダー

言語 日英同時通訳

登壇者
 ・ビル・ボームント ワールドラグビー会長
 ・岡村 正 日本ラグビーフットボール協会会長
 ・嶋津 昭 ラグビーワールドカップ2019組織委員会事務総長 等

東京プレナリー

東京プレナリー・基調講演

京都での成果を引継ぎ、東京での開会を宣言するとともに、スポーツ界、経済界の代表より基調講演をいただきます。

官民パネル

民間企業経営者等が大臣等とともに、ステージ上で本フォーラムへの期待や2020年の日本の姿についてご発言いただきます。

日時 10月20日(木)15:00~17:00

会場 グランドハイアット東京 グランドボールルーム

言語 日英同時通訳

登壇者
 ・トーマス・バッハ 国際オリンピック委員会(IOC)会長
 ・フィリップ・クレイブン 国際パラリンピック委員会(IPC)会長
 ・ビル・ボームント ワールドラグビー会長
 ・クラウス・シュワブ 世界経済フォーラム会長 等

スポーツセッション

オリンピック・パラリンピックがもたらすレガシー

ロンドンからリオ、東京へ、そしてその先へ。伝えられるレガシーは何か。未来へ伝えるべきレガシーは何か。2020年に向けて、我々はどのようなアクションを起こすべきか。「アスリート・ファースト」を掲げる東京大会において、様々なレガシーの中でも特にスポーツ分野に重点を置き、どのようなレガシーを残すべきかを考えます。

日時 10月21日(金)10:00~12:00

会場 グランドハイアット東京 グランドボールルーム

言語 日英同時通訳

登壇者
 ・遠藤 利明 東京オリンピック・パラリンピック担当大臣
 ・室伏 広治 東京2020組織委員会スポーツディレクター
 ・リタ・バン・ドリエル 国際パラリンピック委員会(IPC)委員
 ・小谷 実可子 アスリート、オリンピック
 ・田口 亜希 アスリート、パラリンピアン 等

スポーツ大臣会合

Sport for Tomorrow

各国スポーツ大臣、国内外スポーツ関係者を招いて、国際スポーツ界の重要な 이슈である、①開発と平和のためのスポーツ、②万人のスポーツへのアクセス、③スポーツ・インテグリティの保護について議論を行います。各スピーカーから、各イシューについての取組事例紹介を行い、スポーツを通じた社会の発展、国際交流・貢献について議論を深めることを目的としており、議論の成果を国内外に発信することで、スポーツの普及、およびオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを、より一層推進することを目指します。

日時	10月21日(金)13:00～17:00
会場	グランドハイアット東京 グランドボールルーム
言語	日・英・仏 同時通訳
登壇者	・馳 浩 文部科学大臣 ・鈴木 大地 スポーツ庁長官 ・各国スポーツ大臣 等

官民ワークショップ

ダボス会議を主催する世界経済フォーラムと日本政府が連携し、新たなライフスタイル、健康長寿社会へのアプローチ、若年世代の新たな価値観、過去のトレンドからは到底予想できない破壊的技術革新などをテーマに、約25のセッションにリーダーが集い、世界の未来を議論します。

世界経済フォーラムのコミュニティに属する企業経営者、ヤング・グローバル・リーダーズ、テクノロジーパイオニアなど、60を超える国々からビジネス、政府、市民社会を代表するリーダーが300名以上参加し、日本からの参加者と併せて600名以上が集います。

【官民ワークショップにおける議論とは】

- ー2020年に向けて日本が世界をリードするために、取り組むべきことは何か
- ー世界的に消費者の行動やニーズを変えつつある新たなデジタルプラットフォーム、文化、ライフスタイルなどに、いかに適応していくか
- ークリエイティブインダストリーの変容から何を学ぶことができるか
- ーソフトパワーに基づく新しい経済・文化のエコシステムがもたらす可能性とは何か
- ー最先端の再生医療やロボット技術が、いかにして社会実装されるべきか
- ー長寿社会における財政、労働、金融、新産業などは、いかなる変化を起こすか
- ースポーツ産業と他産業との融合は、どのようなビジネス機会の創出につながるか

日時	10月21日(金)9:00～17:00
会場	六本木ヒルズ森タワー49階アカデミーヒルズ
言語	日英同時通訳
登壇者	8月下旬公開予定

文化会議 分科会

ここから障害・アート・からだを考える3日間(仮称)

オリンピック憲章の「オリンピズムの根本原則」では、「オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである」とされています。これはアスリートだけでなく、すべての人に向けられた原則です。この根本原則に向けて、あらゆる人々が新たな意識で生きるための一歩を踏み出すことを目標に、展覧会を「ここから」と名付けました。この展覧会では、我が国における現時点での障害のある方による優れた芸術作品や障害のある方のための優れた取組等を紹介し、これらの作品との出会いにより、あらゆる人々にとって新たな意識、新たな「生き方の創造」につながっていくことを願っています。

日時	10月21日(金)～10月23日(日) 21日(金) 10:00～22:00 22日(土) 10:00～22:00 23日(日) 10:00～18:00
会場	国立新美術館 2階企画展示室
言語	日本語
登壇者	なし

文化会議 分科会

文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて(仮称)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツや文化芸術を通して、日本全体を盛り上げていく機運が高まっています。こうした中、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々が様々な場で文化芸術の創造・鑑賞活動に参加できる社会的包摂に係る取組を進めていくことが求められています。このため、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントとともに文化芸術による社会的包摂の取組を進めていくことにより、多様性を尊重する社会の実現、ひいては芸術文化のさらなる発展へとつながるよう、内外の有識者をお迎えし、障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に関わる活動をテーマとしたシンポジウムを開催します。

日時	10月21日(金)13:00～16:00
会場	国立新美術館 3階講堂
言語	日英同時通訳、手話通訳等あり
登壇者	<ul style="list-style-type: none"> ・青木 保 国立新美術館館長 ・ジェニー シーレイ Graeae Theatre Company 芸術監督 ・野澤 和弘 毎日新聞論説委員 ・東 ちづる 女優 一般社団法人「Get in touch」理事長 ・日比野 克彦 アーティスト 東京芸術大学美術学部長 ・森田 かずよ ダンサー CONVEY主宰 NPO法人ピースポート・ワンフォー理事長 ・山中 俊治 東京大学大学院情報学環 生産技術研究所 教授 等

文化会議 分科会**バリアフリー映画上映会(仮称)**

障害のある方々が、文化的な作品、映画、演劇その他の文化的な活動を享受する機会を有し、また、劇場、映画館など文化的な公演が行われる場所を利用する機会を有するための措置を締約国はとることなどが障害者権利条約においてうたわれています。

こうした中、国内の関連法制が整備され、各文化施設事業者の努力もあり、施設のバリアフリー化や映画の字幕付与率など年々高まりつつある状況にあります。このたび、文化芸術による社会的包摂の取組の一環として、我が国の現時点での最新技術により、障害のある方々が不自由なく映画を鑑賞し、障害の有無にかかわらずあらゆる人々が共に楽しむことができる映画上映会を開催します。

日時	10月22日(土)10:00～13:00
会場	国立新美術館 3階講堂
言語	日本語 視覚・聴覚障害者対応
登壇者	未定